

別科土壌作物栄養学実習レポート

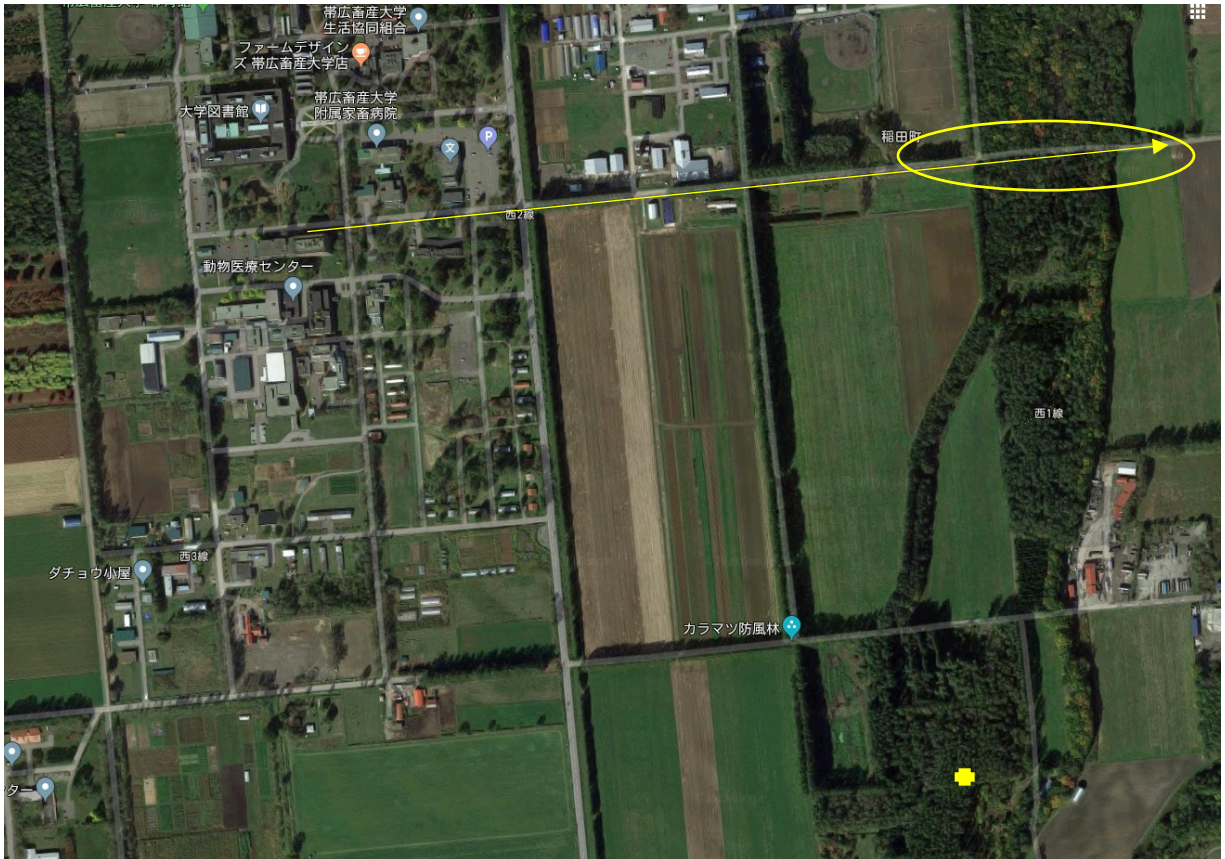
第2回目 (4月15日)

畜大周辺の地形と土壌の観察 (1) 段丘面の違いと土壌、植生

学籍番号

氏名

1) 帯広畜産大学から、農業高校を通過して、機関庫川にいたるまでの地形の変化のようすを、横断面の模式図によって示さない。



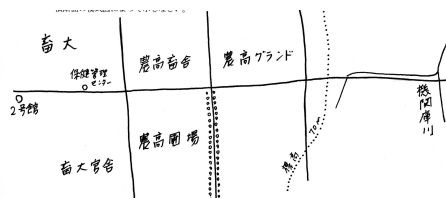
上の楕円 4月15日の調査地域 下のマーク 4月8日の調査地点

2) 主要な地形面における植生と土壌の様子を表にまとめなさい。

	地形面・主な植生	緯度・経度・標高	A層の深さ・土色
(1)	川西台地相当面 (中台地) 農高圃場の東端 カラマツ防風林 白樺防風林	N 42° 52' 30.71" E 143° 11' 2.37" 71 m	Ap層 40 cm 暗褐色 B層 褐色
(2)	川西台地相当面 (中台地) 農高林 ミズナラ、カシワ ミヤコザサ	N 42° 52' 32.28" E 143° 11' 4.34" 73 m	L層 2 cm カシワ、ミズナラ、カラマツなどの落葉 F層 1 cm 同上が破碎されたもの H層 薄い 1 cm 以下 A層 約 30 cm 暗褐色 約 10 cm の深さに厚さ 1cm の樽前 b 火山灰を挟む B層 褐色
(3)	中札内台地相当面 (低台地) 農高林低部 ハンノキ、シラカバ フッキソウ、オオウバ ユリ、オオバナノエン レイソウ、バイケイソ ウ、ザゼンソウ	N 42° 52' 31.98" E 143° 11' 7.14" 66 m	LFH層非常に薄い。 全体で 2cm 以下。 A層約 20cm 黒褐色 その下は直接礫層
(4)	札内川沖積面 (低地) ハンノキ、ヤナギ、 シラカバ、エゾニワト コ エンコウソウ、ユリワ サビ (水路内) 農家草地	63 m	農家圃場のため土壌調査せず。 表土の色は農高圃場よりも明るい。 腐植が少ないことを示している。

段丘地形の観察

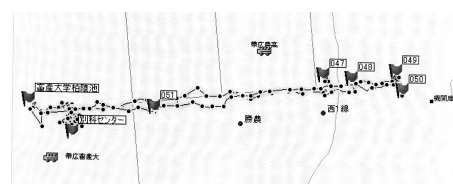
帯広畜産大学から農業高校園場を經由し、
段丘崖を観察し、低地まで歩く。(1日目)



段丘面による植生の違い

中位段丘面	低位段丘面
カシワ	ヤチハンノキ
ミズナラ	シラカバ
エゾミヤコザサ	フッキソウ
	オオバナノエンレイソウ
	オオウバユリ

GPS ルート記録



観察記録事項

- 土地利用
- 植生 (特に段丘面と乾湿との関係に注意する)
- 検土杖による主な土壌層位の厚さと色
- 緯度・経度・標高